



議会だより

にき

★
★
第102号

2014.8.7

<http://www.town.niki.hokkaido.jp>

gikai02-niki@town.niki.hokkaido.jp

第2回定例会 **国保税・課税限度額引上げ** 2

第3回臨時会 **防災無線受信機を家庭に配備** 5

町政のそこが聞きたい！ 一般質問 6

総務経済常任委員会 **陳情審査 現地調査を実施** 10

議会改革特別委員会 **議会報告会 9月定例会後に実施予定** 11

定例会のあらまし

第2回定例会は、6月23日に開会し、同日閉会しました。

町から補正予算、条例改正、事務委託、規約変更が上程され、すべての議案を可決しました。また、議会から農業委員の推薦、議員から9件の意見書を提出し、農業委員に大野雅義議員を推薦、意見書8件を可決しました。（消費税10%実施の中止を求める意見書は否決）

一般質問では3名の議員が登壇し、考えを問いました。



ほけん課国保医療係窓口（役場1階）

国民健康保険税 課税限度額を引上げ

国保税条例の一部改正

条例改正

後期高齢者分・介護分の限度額を変更

国民健康保険税条例の一部改正が提案され審議・採決の結果、賛成7・反対1で可決しました。

主な改正点は、地方税法の改正により、後期高齢者支援金等課税限度額14万円が16万円に、介護納付金課税限度額12万円が14万円にそれぞれ引上げます。

反対討論



昨年、国保税を引上げし、

本町の国保税は高いと言われている。この課税限度額の引上げについて、国保税審議会で決定したことから、議会に条例改正を上程したと考えるが、詳細に渡った説明がない。

よって、課税限度額を引上げるこの条例に反対する。

賛成討論



国保税条例を改正するとい

うことは、本町において医療費が増加しているのではないかと考える。

昨年、国保税の引上げをした中で町民負担を考えると、確かに大変であることも理解するが、国保財政を考慮すると致し方のないことから賛成する。



旅券申請・受取窓口 10月から余市町に変更

事務委託

旅券発給事務を余市町へ委託

余市町と仁木町の旅券交付申請及び交付に関する事務の委託が提案され、審議・採決の結果、**全員賛成で可決**しました。



パスポート申請窓口（余市町役場1階）

主な内容は、北海道から仁木町への権限移譲により、仁木町に住民登録をしている方の旅券（パスポート）交付申請及び交付に関する事務等を余市町に委託するもので、申請・受取窓口が10月1日より、後志総合振興局及び札幌パスポートセンターから余市町役場に変更されます。

◇軽自動車税の税率及び特例

区 分			標準税率		重課税率	
			改正前	改正後	改正前	改正後
四輪	乗 用	自家用	7,200円	10,800円	制度なし	12,900円
		営業用	5,500円	6,900円		8,200円
	貨物用	自家用	4,000円	5,000円		6,000円
		営業用	3,000円	3,800円		4,500円
三 輪			3,100円	3,900円		4,600円

新規登録から14年経過の軽自に重課導入
税条例の一部改正が提案され審議・採決の結果、**全員賛成で可決**しました。

条例改正

軽自動車税を引上げ

税条例の一部改正

主な改正点は、町民税の法人税割の税率の引下げ、軽自動車税の引上げ及びグリーン化推進のための経年重課を導入します。

軽自動車税の引上げは、平成27年度以降の軽自動車税から適用されますが、平成27年3月31日以前に登録された軽自動車には適用されません。

※初めて車体番号の指定を受けた年月は、自動車検査証（初度登録年月欄）に記載されています。



グリーン化とは

自動車環境に大きな影響を与えていることから、自動車環境対策として環境負荷の大きい自動車には税率を重く（重課）、小さい自動車には税率を軽く（軽税）するものです。



鳥獣捕獲促進体制強化を要望

意見書

▼鳥獣の捕獲促進体制強化の速やかな実施を求める意見書

提出議員 住吉 英子

賛成議員 大野 雅義

法改正により鳥獣の捕獲体制が強化されることとなったが、施行にあたり、都道府県を越えて生息する鳥獣の保護・管理を国主導に

よる広域対応の仕組みづくりの検討、市町村への鳥獣被害防止総合交付金の予算拡充などを実施するよう要望するもので、審議・採決の結果、**全員賛成で可決**し、関係機関に提出しました。

その他の意見書

▼地方財政の拡充を求める意見書

提出議員 嶋田 茂

賛成議員 横関 一雄

全員賛成で可決

▼「情報・コミュニケーション法（仮称）」の早期制定を求める意見書

提出議員 横関 一雄

賛成議員 嶋田 茂

全員賛成で可決

▼総合的・体系的若者雇用対策を求める意見書

提出議員 住吉 英子

賛成議員 嶋田 茂

全員賛成で可決

▼地域包括ケアシステム構築のため地域の実情に応じた支援を求める意見書

提出議員 住吉 英子

賛成議員 大野 雅義

全員賛成で可決

▼中小企業の事業環境の改善を求める意見書

提出議員 住吉 英子

賛成議員 嶋田 茂

全員賛成で可決

▼教育委員会制度の見直しに関する意見書

提出議員 上村智恵子

賛成議員 大野 雅義

全員賛成で可決

▼消費税10%実施の中止を求める意見書

提出議員 上村智恵子

賛成議員 野崎 明廣

賛成2・反対6で否決

▼労働者派遣法改正及び労働時間上限撤廃など労働法制改正に反対する意見書

提出議員 上村智恵子

賛成議員 嶋田 茂

全員賛成で可決

補正予算

スイーツコンテスト
仁木で開催

◇一般会計

一般会計予算は、スイーツコンテストの実施、一般会計繰越金確定による国保・簡水・後期医療会計繰出金の減等による減額補正が提案され、審議・採決の結果、**全員賛成で可決**しました。

◇国保・簡水・後期医療特別会計
すべて全員賛成で可決

道原子力防災訓練、今年は10月24日に実施

泊発電所の事故を想定した北海道原子力防災訓練は、本年10月24日に実施されます。本町においても、代替フサイトセンター運営訓練、緊急時通信連絡訓練、緊急時環境放射線モニタリング訓練、広報訓練、緊急被ばく医療活動訓練、住民生活保全訓練等のほか、UPZ 30 km圏外への広域的な住民避難訓練を実施します。



佐藤町長の
行政報告
administrative report

平成26年度会計 補正の結果

補正額

予算総額

・一般会計（2回目の補正）	233万円 減	35億8379万9000円
・国民健康保険事業特別会計（2回目の補正）	増減なし	2億4087万3000円
・簡易水道事業特別会計（2回目の補正）	増減なし	4億1092万9000円
・後期高齢者医療特別会計（2回目の補正）	10万1000円 増	6408万6000円

臨時会のあらまし

第3回臨時会は、6月2日に開会し、同日閉会しました。

町から契約締結が上程され、すべての議案を可決しました。



防災行政無線

戸別受信機

各家庭に配備

契約締結

▼防災行政無線整備工事

災害時において、無線による迅速かつ的確な通報伝達システムを構築するため、町内に屋外拡声機35機、各世帯・事業所・避難所及び公共施設等に戸別受信機1600台を配備します。

◇契約の相手方

橋本・木村・大江経常建設共同企業体

◇契約金額

2億2511万円

◇工期

6月5日～2月27日

全員賛成で可決

▼配水管整備事業仁木地区南

町・西町配水管布設工事

町道中線の路肩、国道5号の歩道内に配水管を布設します。

◇契約の相手方

櫻・北悠・仁木重機・長内経常建設共同企業体

◇契約金額

8618万4000円

◇工期

6月5日～2月27日

全員賛成で可決

その他の議案

◇繰越明許費繰越計算書の報告

地方自治法施行令第146条

第2項に基づく報告

北海道芸術高校、本町での開校に向け準備中



佐藤町長の
行政報告
administrative report

5月9日、山下議長とともに、北海道芸術高校のチーフアカデミックディレクター・義家弘介衆議院議員、北海道芸術高校・坂井理事長と仁木校開校についての情報・意見交換を行ったところ、仁木校開校に向け北海道私立学校審議会に6月5日に計画申請書を提出し、了承された場合は11月4日に本申請書を提出する運びとなっており、年内に認可されると来年4月からの開校となります。

また、開校に併せ、十勝・清水町にある本校を仁木町に移転する予定とのことです。

町としても年内に認可され、来年4月からの開校を機に生徒たちに本町の素晴らしい自然環境の中での農業、自然体験をしていただくことを切に願っています。

人事

農業委員に大野議員を推薦

任期満了に伴う議会推薦の農業委員を大野雅義議員とすることに對し、**全員賛成で推薦**しました。

◆農業委員

大野 雅義 議員
(東町8丁目)

その他の議案

◇北海道町村議会議員公務災害補償等組合規約を変更するための協議

全員賛成で可決

◇北海道市町村総合事務組合規約を変更するための協議

全員賛成で可決

平成26年第2回定例会 審議した議案と賛否の公表

	野 崎 議 員	住 吉 議 員	嶋 田 議 員	宮 本 議 員	大 野 議 員	林 議 員	上 村 議 員	横 関 副 議 長	山 下 議 長	議決結果
国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定	○	○	○	○	○	○	●	○	－	原案可決
消費税10%実施の中止を求める意見書	○	●	●	●	●	●	○	●	－	否 決

○…賛成、●…反対

※全員賛成の議案は、掲載していません。また、議長は採決には加わりません。

一般質問

第2回定例会の一般質問には、3人の議員が登壇しました。
紙面の都合により、内容を要約してお知らせします。



住吉 英子 議員

風しんワクチン接種について

…7ページ

上村 智恵子 議員

高齢者の交通手段について

…8ページ



野崎 明廣 議員

仁木町の観光について

…9ページ



町政のそこが聞きたい



一般質問とは、議員が町政全般にわたり、執行機関に対して事務の執行状況及び将来に対する方針等について所信を質し、あるいは報告、説明を求め、又は疑問を質すことです。

本町議会の一般質問は、回数制限及び時間制限を無制限で行っています。

町長 接種費用の一部負担などを検討する

住吉

厚生労働省によると、

49歳以下の日本人で、
風しんの免疫を持たな
い人は約750万人と
言われている。

特に、20〜40代男性は幼少時に風しんにかかっていない、2回の接種を受けていない、風しんに対する抗体価が低い人が多く、その理由として、ワクチン接種制度が変わり、昭和54年4月2日から昭



住吉 英子 議員

和62年10月1日生まれ
の人はワクチン接種を
受ける機会がなかった
ことが背景にあると言
われている。

一方、20〜40代女性の4%が風しんへの抗体がなく、10%では感染予防には不十分である低い抗体価であり、抗体を持たない、又は低い抗体価の妊娠中の女性が風しんにかかる

と、胎児が**先天性風疹症候群**を発症する可能性が高い。

感染を防ぐには、ワクチン接種による風しん予防が重要と考えるが、町では風しんワクチン接種について、どう考えているのか。

町長

予防疫種法
に基づき実

施し、現在、風しんの
 免疫をつけるワクチン
 を含んだ麻しん及び風
 しん混合ワクチンを幼
 児期に2回接種を実施
 している。

また、昭和54年4月2日から昭和62年10月1日までに生まれた男女について、風しんの免疫が低い年齢であったため、国の制度変更に合わせて、風しんに感染していない者で、かつワクチン未接種の対象者210名に対し、個別周知等を行い、31名が接種を行った。

風しんワクチンの接種を受けることなく成

長したり、自然感染しないままにいるといつても感染を受け入れる可能性があることから定期接種の対象者には基礎免疫を早く済ませ

ることの重要性を、また、対象年齢を超えている場合はその他の必要な予防接種を含めて任意の接種として受けるよう周知していく。

住吉

ワクチン未
接種対象者

に個別周知等を行うなどしているが、今後どのような対策を考えているのか。

町長

道の事業で
あるが、平

成26年度から風しん抗体価検査の助成事業が検討されている。この検査を受け、免疫のない人が予防接種した場合の費用は自己負担となるため、道の事業内容が決まり次第、予防接種費用の一部負担など、今後検討する。



風しん 注意報 発令

風しんの予防接種で 未来の赤ちゃんを守れます

妊婦、とくに妊娠初期の女性が風しんにかかること、赤ちゃんにも感染し、耳が聞こえない、目が見えない、生まれてから心臓に病気がある、発達が遅いなどという「先天性風しん症候群」という病気にかかってしまうことがあります。

**女性は
妊娠前に**

**風しんの予防接種を
ご検討ください**

接種後2ヵ月は避妊が必要です
接種回数数は子どもの頃の接種を含め2回です

成人男性は

風しんにかかったことがない方
風しんワクチンを受けていない方
どちらか不明の方

接種することをご検討ください
2回接種しても問題はありません

**妊娠中の
女性の家族は**

**風しんの予防接種を
ご検討ください**

妊婦は風しんの予防接種を受けられません
1歳児(第1期)、小学生入学前1年間(第2期)は
高熱・風しん混合ワクチンの定期接種を受けましょう

!

妊娠中は
風しんの予防接種を
受けることは
できません

prior 歩行成人に近い育費で、特に10代後半～50代前半の男性。 10代後半から30代の半ばの女性が多くて既婚しています	prior 特に昭和46年4月2日～平成7年4月1日生まれの子どもの母は接種率が低く、昭和47年4月1日に生まれる男性は子どもとの間に二期接種のチャンスがありませんでした	prior 風しんの予防接種は、ほしか(風しん)と一緒に予約できる 風しん・風しん混合(MRV)ワクチンでひとことを受けます
---	--	---

厚生労働省／国立感染症研究所／社団法人日本医師会／公益社団法人日本産科婦人科学会／公益社団法人日本看護学会／公益社団法人日本小児科学会／一般社団法人日本小児科医会／公益社団法人日本人児童保健協会／一般社団法人日本医療研究開発会／日本ウイルス学会／一般社団法人日本プライマリケア連合学会／一般社団法人日本看護協議会／日本産科婦人科学会／日本管理栄養士会／一般社団法人日本耳鼻咽喉科学会／日本ワグドク学会

お問い合わせ先
厚生労働省健康政策課感染症対策課 TEL. 03-5253-1111 (内)
国立感染症研究所感染症情報センター TEL. 03-5289-1111 (内)

風しん 厚労省

検査

風しん 感染研

検査

Copyright © 2011

風しんの予防接種を啓発するポスター



上村智恵子 議員

デマンドタクシーの導入を

町長 実現化に向け、積極的に取り組む

上村

本町の公共交通機関は

鉄道・バスであるが、高齢化が進み広大な本町の地勢を考慮すると新たな交通手段が必要と考える。

今年の町づくり懇談会において、社協に事業委託している外出支援サービス事業に対し多くの要望があったと聞き、町の条例・規則

により実施されている

事業であれば、事業内

容の見直しを行うべき

であり、見直しを行わ

ないのであれば、誰で

も利用できるデマン

ドタクシーを導入すべ

きと考える。町内の高

齢者が孤立や閉じこも

りにならないよう、気

軽に利用できる交通手

段が必要と考えるが、

町長の見解は。

町長

外出支援サ

ービスは、

町の条例を改正し対象

者の枠を拡大すること

は可能であるが、枠を

拡大したことにより利

用者が増大し、民間事

業所を圧迫するおそれ

があることから、慎重

な対応が必要であると

考える。

また、交通空白地域

とされる区域内の移動

支援については、持続

可能な公共交通の実現

を目指し、北海道運輸

局と打合せの協議を行

い、地域公共交通の充

実を図るための計画策

定等を、平成27年度に

向け検討している。

上村

地域の高齢

者が閉じて

もりにならないように

と、各地域のボランテ

ィアグループが活動し

ているが、送迎などボ

ランティアでは限界が

あると考える。

交通手段について、

町長

高齢者の皆

さんが交通

手段等に悩んでいると

いう声を多く聞してい

るので、デマンドタク

シーの必要性は、私も

非常に高いと認識して

いる。

もつと町民の意見をま
とめてほしいと考える
が、町長の見解は。

先日、町内の民間会
社と話をしたが、実際
にどのような形で行っ
たら良いのか、詳細な
部分を今後詰めて話を
進めていくので、実現
化に向け、積極的に取
り組んでいく。



ニセコ町のデマンドバス にこっとBUSキラりん号

観光に農業をどう活用するのか

町長 ファーマーズマーケットを考えている

野崎

果実とやすらぎの里を永遠のテーマとしている本町であるが、果樹農家の減少により、農産品も減少傾向になりつつある。

今後、観光地として具体的にどのような施策を考えているのか。

町長

昨年4月に観光振興計画を策定し、果樹等の地域資源を活用しながら、魅力ある観光地づくりを重点的に取り組むとともに、関係機関及び関係団体と緊密な連携を図り、着実に推進していく。具体的に

は、農業や観光関連施策との連携、参加体験型観光の促進、水洗トイレの普及・促進、イメージキャラクター製作によるPR活動の展

開、北しりべし定住自立圏での取り組みや北後志観光連絡協議会による観光案内の強化、情報の発信及びPRにより観光客を誘致するための施策について、積極的に取り組む。



新鮮野菜が豊富！隔週土曜日に開催されるかあちゃん市

野崎

農村公園フルーツパークにきの来場者数の減少について、検証する必要があると考える。5年間で2万人以上が減少している現状を町はどう受け止めているのか。

町長

来場者数の減少を町が検証することより、今後どうすべきかを観光

ファーマーズマーケットとは



主にその地域の生産者農家が複数軒集まって、自分の農場でつくった農産物を持ち寄り、消費者に直接販売するスタイルの市場のことです。

ファーマーズマーケットはヨーロッパやアメリカなどで催されており、地域の生産者と消費者が深く結びつくことで過疎化が進んでいた農村が盛り返したり、地域に根ざした特産品が増加するなどしています。

また、農産物の販売以外にもパン類やスイーツ類など加工品のお店やカフェがあったり、音楽の生演奏といったイベントが行われるなど「憩いの場」としての側面も持っています。

野崎

町長は3月の農業講演会において、特産品PRや農産物の販売戦略について語っていたが観光にどう活用しながら取り組むのか。また、農業戦略の取り組みは。

町長

本町には道の駅がないので、多くの農産物を

協会とも協議すべきと考える。

1か所に集めた直売所のようなファーマーズマーケットといったものに取り組んでいきたいと考えている。今の段階で目に見えるものはないが、これからがしっかりとした基盤を作る期間であり、私が考える農業ビジョンは、10〜20年かけてどの地域にも負けない農業をつくることを言っているものであり、今後はその部分を踏まえ形にしていきたい。

野崎 明廣 議員

▼種川線フルーツ街道交差点手前の 勾配緩和と拡幅を求める陳情

◆陳情第1号審査

平成26年7月11日に

陳情第1号『種川線フルーツ街道交差点手前の勾配緩和と拡幅を求める陳情』の審査を行いました。

今回の審査は、夏の観光シーズンにおける車の往来状況を確認するため、現地調査を実施しました。

施しました。

現地調査では、種川線と仁木山の手線（フルーツ街道）の交差点現況確認及び観光バスの往来現況確認状況調査を行いました。

次回は、陳情者を参考人招致し、意見陳述を行います。



道路拡幅を求める陳情の現地調査を実施

▼町道3番線灌漑用水路からフルーツ街道までの拡幅を求める陳情

◆陳情第2号審査

平成26年7月11日に陳情第2号『町道3番線灌漑用水路からフルーツ街道までの拡幅を求める陳情』の審査を行いました。

今回の審査は、夏の観光シーズンにおける車の往来状況を確認するため、現地調査を実施しました。

次回は、陳情者を参考人招致し、意見陳述を行います。



▼道道仁木赤井川線に接続されている町道銀山停車場線の拡幅を求める陳情

◆陳情第3号審査

平成26年7月11日に陳情第3号『道道仁木赤井川線に接続されている町道銀山停車場線の拡幅を求める陳情』の審査を行いました。

今回の審査は、歩道の雪が完全に解けた状態での道路現況を確認するため、現地調査を行いました。

次回は、陳情者を参考人招致し、意見陳述を行います。





議会報告会の実施時期を検討

9月定例会後に開催予定

◆ 6月2日開催の委員会では、議会中継、ホームページの作成、委員会及び全員協議会の傍聴、会議録の公開について、協議・検討を行いました。

◆ ホームページの作成
現在10のカテゴリーに分け情報を提供しており、更新も随時していることから、現行どおりとしました。

◆ 6月24日開催の委員会では、議会報告会、会議録の公開について、協議・検討を行いました。

◆ とに決定しました。
報告会の詳細については、今後も検討を重ね、10月中の開催を目指し、準備を進めていきます。

◆ 議会中継

平成13年度からインターネット配信による議会中継を行っていますが、現在使用しているサーバはインターネット限定のため、ネット配信を実施するためにはサーバ及び議場内カメラ等の更新が必要となることから、費用対効果を考慮し、現行どおりとしました。

◆ 委員会及び全員協議会の傍聴

現在、委員会及び全員協議会の傍聴は、条例及び規程において許可を得ることができるとしています。
傍聴の申し出があったときは、従前から原則許可してきたことも考慮し、現行どおりとしました。

◆ 議会報告会

平成25年第4回定例会において、「議会報告会を開催するとの方向で意見が一致したことから、開催に向け今後も調査・研究を行う」との中間報告を行っています。
この中間報告を踏まえ、議会報告会の方法について種々検討した結果、9月定例会の審議結果を中心とした議会報告会を実施するこ

◆ 会議録の公開

現在、委員会及び全員協議会の会議録は公開していませんが記録の公開を議論する前に、まず議会の運営基準を設け、その中で議論すべきとの意見を踏まえ、会議録の公開については、現行どおりとしました。

親身な対応に感謝！

仁木町で新規就農

岩村さんファミリー（東町15）

東町在住の岩村卓哉さんは三世代家族。

昨年9月に江別市から転入して新規就農され、家族みんなで農業を営んでいます。

◎農作物は何を栽培しているんですか。

「現在はトマトを栽培していますが、将来は果樹も栽培したいと考えています」

◎仁木で就農してみようと思ったきっかけは何ですか。

「ずっと農業をやってみたくて、いろいろな町村の情報を見たり聞いたりして探しているとき、仁木の役場職員や農協職員がどこよりも親身になって話を聞いてくれました。年齢がネックに感じ、不安だったんですが、農家の皆さんに助けていただき、本当に感謝しています」



（取材・インタビュー 住吉 英子）

新規就農は本当に大変だと思いましたが、お子さんの元気な姿や笑顔が家族みんなを励ましていると感じました。

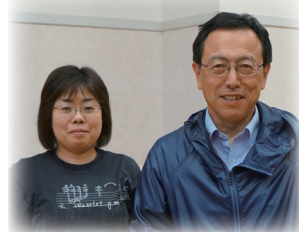
「町のHPに農地情報は掲載されていますが、住宅情報があったら良いのと思いました。農地と住宅を一緒に探すことができます。あと、農業支援の情報も掲載されていると、就農を考えている人にとってはありがたいですね」

◎就農されるとき「こんな支援があれば良いの」と思ったことは何かありますか。

「町のHPに農地情報は掲載されていますが、住宅情報があったら良いのと思いました。農地と住宅を一緒に探すことができます。あと、農業支援の情報も掲載されていると、就農を考えている人にとってはありがたいですね」

紹介！

まちの人



仁木フルーツ合唱団

指揮 鈴木 一博 先生
伴奏 赤沼 加奈子 先生

歌うことが大好きな子どもたちが集まって結成された仁木フルーツ合唱団。

昨年はNHK全国学校音楽コンクール（通称Nコン）小樽・後志地区大会をみごと突破し、全道大会へ進みました。

現在の団員数は、小学生22人と中学生9人の合計31人で、うちNコンに出場する小学3～6年生は14人。練習は夕方からなので、子どもたちの集中力が持続しないことも。練習前には必ず体操を行い、やる気スイッチをオンにしてから歌の練習に入ります。先生方は、子どもたちの集中力を保つため、工夫しながら指導しています。

「少人数でも頑張っているところを皆さんに見ていただきたい」と鈴木先生。

少数精鋭ですが、フルーツの里でのびのび育つ子どもたちだから出せる『爽やかなハーモニー』で、審査員や客席の皆さんを魅了することでしょう。



（取材 住吉英子・上村智恵子）

次の議会は 9月定例会 （9月下旬を予定）

ぜひ傍聴に来てください

◆編集・発行責任者
議長 山下 敏二

◆議会広報編集特別委員会
委員長 住吉 英子
副委員長 嶋田 茂
委員 大野 雅義
委員 上村智恵子

寄附行為の禁止

議員は、選挙区内の方にお金や物を贈ることは、法律で禁止されています。また、有権者が求めてもいません。ご理解をお願いします。

編集 後記

「果実とやすらぎの里」の季節がやってきました。今年のサフランボは、例年に比べ生育が早く、先月開催されたさくらんぼフェスティバルでは、多くの来場者に初夏の味を存分に堪能していただけたのではないかと思います。このまま豊穡の秋となるよう願っています。

さて、連日報道において「議員のセクハラや問題」「政務調査費の不正疑惑」等々、議員は何をやっているのかと怒っている方もいらっしゃると思います。議員の品格たるものを改めて自覚し、議会改革に取り組んでいきたいと思っています。

議会広報編集特別委員会では、紙面のより一層の充実を目指し、研鑽を重ねています。他町村議会との情報交換や町民との対話を行い、より良い広報紙づくりを心がけたいと思います。皆さんの声をお聞かせください。

（上村智恵子）